## \Orchestrating a brighter world



宮城県渋滞対策連絡協議会 御中

画像認識型交通量観測装置と事象検知 ファイバセンサとAIを活用した 交通状況モニタリング技術のご紹介

2020年8月6日 日本電気株式会社 第一都市インフラソリューション事業部

### 目次

- 1. 画像認識型交通量観測装置のご紹介
- 2. 画像認識型事象検知機能のご紹介 ~サンプル映像の紹介~
- 3. ファイバセンサとAIを活用した交通状況 モニタリング技術のご紹介
- 4. 目指すべき将来像



1. 画像認識型 交通量観測装置のご紹介

### 1. 画像認識型交通量観測装置のご紹介

画像認識型交通量観測装置は、道路管理用にすでに設置されているカメラの 映像を取得し、画像解析により交通量の観測を行う装置です。

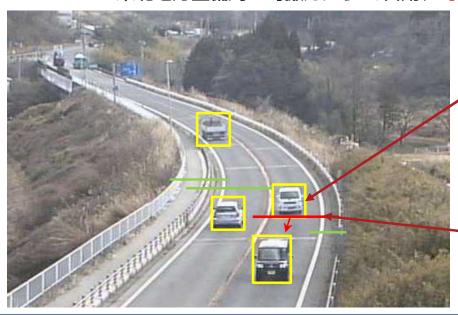
東北地方整備局様には昨年度8事務所へシステムを納入。 対象カメラ合計120台分の交通量観測を実施しています。

【内訳】・青森河川国道事務所、岩手河川国道事務所、磐城国道事務所:CCTVカメラ10台用

・山形河川国道事務所、秋田河川国道事務所、三陸国道事務所:CCTVカメラ20台用

・仙台河川国道事務所: CCTVカメラ30台用

・東北地方整備局:可搬力メラ10台用、可搬力メラ2台



- ①AIによる画像解析技術により、 小型車、普通貨物車、大型バス、歩行者、 自転車類、動力付き二輪車類を判別し、 観測対象として捉えます。
- ②映像上で上下線、歩道に、観測対象の 诵過を判定するラインを設定。 観測対象を車種毎に交通量を集計します。

2. 画像認識型 事象検知機能のご紹介



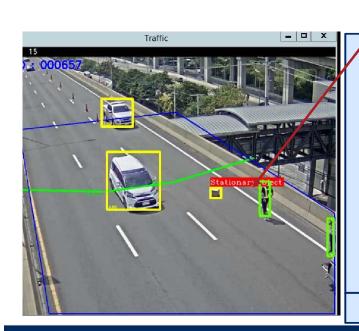
### 2. 画像認識型 事象検知機能のご紹介

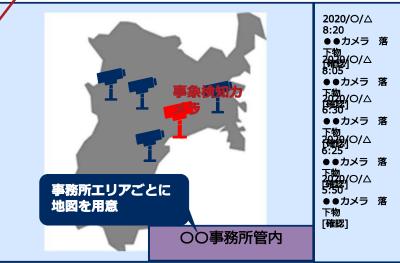
画像認識型事象検知機能は、道路管理用力メラ映像の画像解析により、 道路の様々な事象を検知する機能です。

これまで主に高速道路会社様へ、落下物、停止、逆走、渋滞(混雑)等の事象を 検出し集計するシステムを納入してまいりました。

事象発生、場所の早期特定、事象発生時の画像閲覧による対処立案、慢性的な事象発生箇所の洗い出しに役立てるために、地図画面、画像蓄積装置と組み合わせることも可能です。

①AIによる画像解析技術により、 落下物、渋滞など事象発生をとらえます。

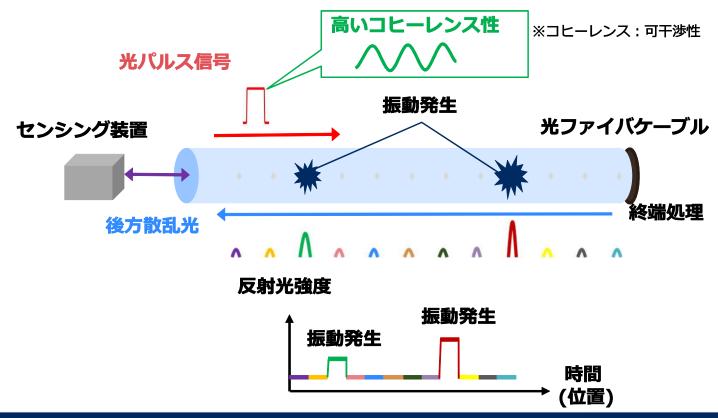




②地図画面等の 組み合わせによ り事象への対処 を支援します。

前述のカメラ映像の活用とは異なり、既設の通信用光ファイバとAI分析処理 技術により広域な交通状況のモニタリングを実現する技術です。

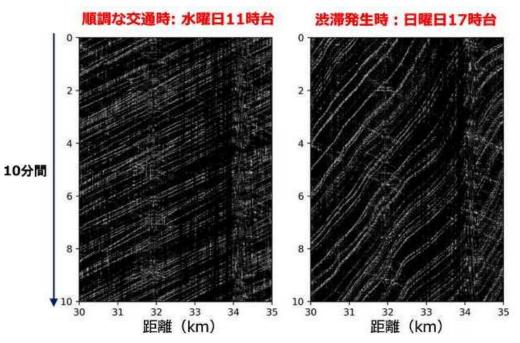
光ファイバ片端に設置した検査装置(センシング装置)から信号を入力 し、観測することで光ファイバケーブルの環境変化(振動/温度/歪み) とその発生位置を特定します。



\Orchestrating a brighter world

観測結果は、走行軌跡の線で表現され、車両の走行方向、速度を表します。 現在普及しているループコイルで観測された平均速度に対して、

85%以上の高い推定精度を確認しています。



# | The image in t

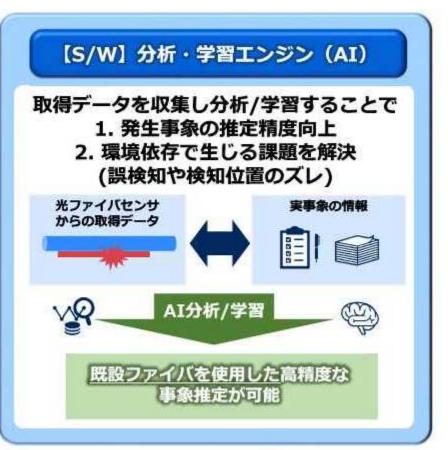
▶ループコイルは1分間の平均速度データを使用(精度は97%以上)▶光ファイバセンサのパッチサイズは1km(111.1KP±500m) x 1分間

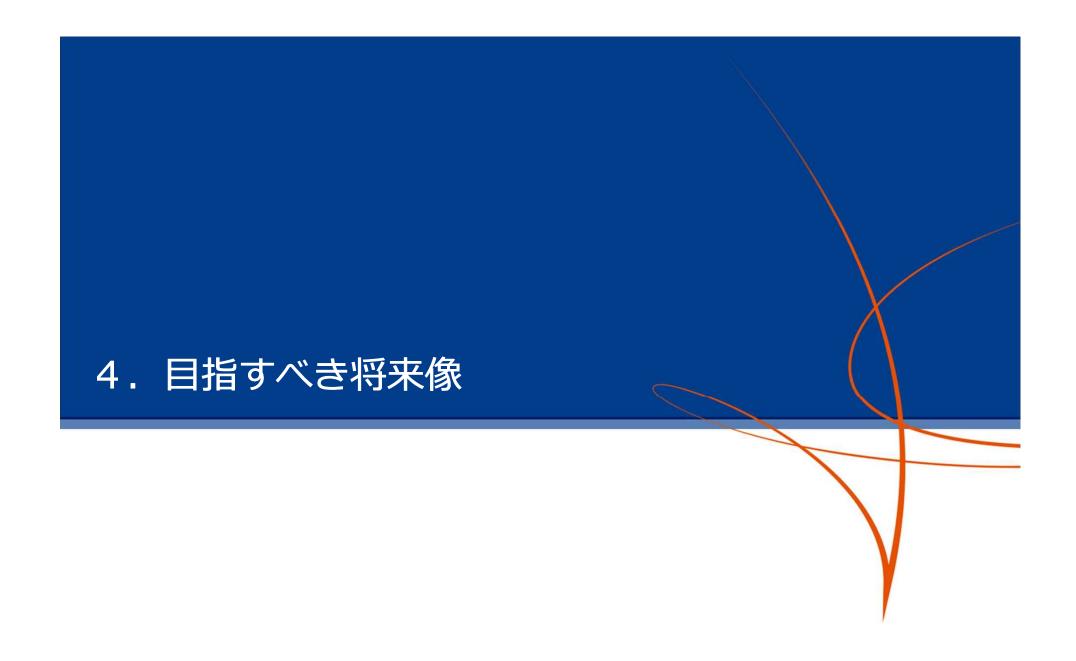
時刻

1台の検査装置で最長150km区間の測定が可能です。

取得データをAIで分析・学習することで検知精度の向上とイベント毎に変化する渋滞などの予測を目指しています。

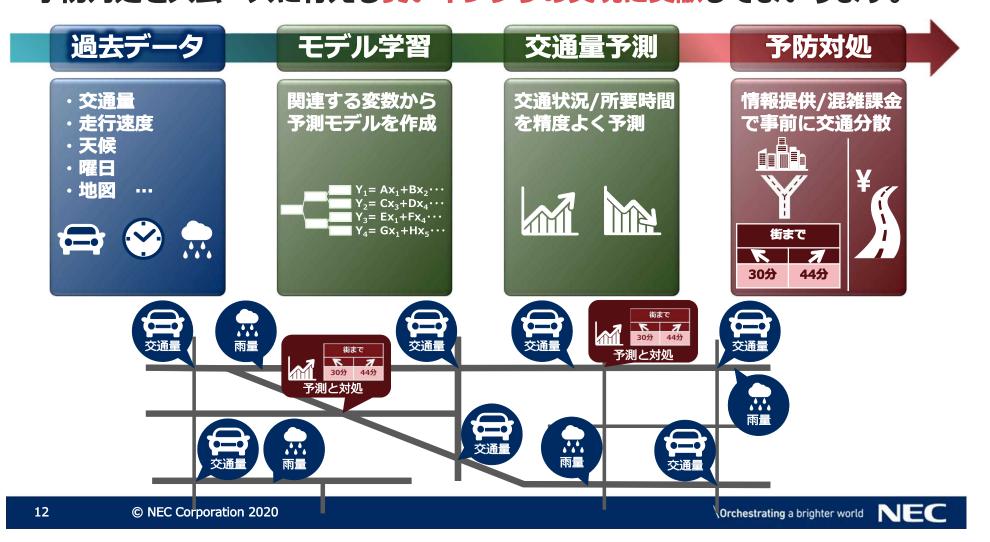






### AI・ビッグデータ分析技術を活用した交通量予測/渋滞対処

ICTとAI技術を活用し、集めたビックデータを分析することで、 経験や勘に頼らずに交通量や渋滞予測が行え、情報提供や交通分散などの 予防対処をスムーズに行える賢いインフラの実現に貢献してまいります。



# \Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という 社会価値を創造し、 誰もが人間性を十分に発揮できる 持続可能な社会の実現を目指します。

## \Orchestrating a brighter world

